

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和02年12月17日

計画の名称	敦賀市「清らかな水環境の再生 第3期」計画（防災・安全）											
計画の期間	令和03年度 ~ 令和07年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	敦賀市											
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	2,756	A	2,756	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R3当初)	中間目標値 (R5末)	最終目標値 (R7末)
1	ストックマネジメント計画に基づき、R7末までに長寿命化対策が必要となる施設の対策率を100%にする。 ストックマネジメント計画に基づき、R7末までに長寿命化対策が必要となる施設の対策率 長寿命化対策済みの施設数（箇所） / R7末までに長寿命化対策が必要な施設数（2箇所）	0%	0%	100%
2	公共下水道に統合を予定している集落排水施設統合の達成率を100%にする。 集落排水施設統合の達成率 統合済みの集落排水施設数（箇所） / 統合が必要な集落排水施設数（1箇所）	0%	100%	100%
3	下水道による都市浸水対策達成率を25%（R3）から90%（R7）に増加させる。 下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積（ha） / 浸水対策を実施すべき面積（52.6ha）	25%	55%	90%
4	下水道台帳の電子化達成率を0%（R3）から100%（R7）に増加させる。 下水道台帳の電子化達成率 電子化済み延長（km） / 電子化が必要な延長（70km）	0%	42%	100%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="radio"/>	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	-----------------------	----------	-----------------------	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R03	R04	R05	R06	R07			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	敦賀市	直接	敦賀市	終末処理場	改築	ストックマネジメント事業（処理場）	処理場長寿命化対策	敦賀市						464		策定中
		SM計画																	
	A07-002	下水道	一般	敦賀市	直接	敦賀市	ポンプ場	改築	ストックマネジメント事業（ポンプ場）	ポンプ場長寿命化対策	敦賀市						1,247		策定中
		SM計画																	
	A07-003	下水道	一般	敦賀市	直接	敦賀市	管渠（汚水）	改築	ストックマネジメント事業（管路施設）	点検調査・改築更新	敦賀市						29		策定中
		SM計画																	
	A07-004	下水道	一般	敦賀市	直接	敦賀市	管渠（汚水）	新設	長谷地区統合（共同化）	污水管 L=0.10km 既処理施設撤去	敦賀市						37		策定済
	A07-005	下水道	一般	敦賀市	直接	敦賀市	管渠（雨水）	新設	呉羽幹線外（浸水対策）	雨水管 L=0.86km	敦賀市						919		-
	A07-006	下水道	一般	敦賀市	直接	敦賀市	-	-	デジタル化支援事業	台帳電子化 L=70km	敦賀市						60		-
										小計						2,756			

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R03	R04	R05	R06	R07			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
											合計						2,756		

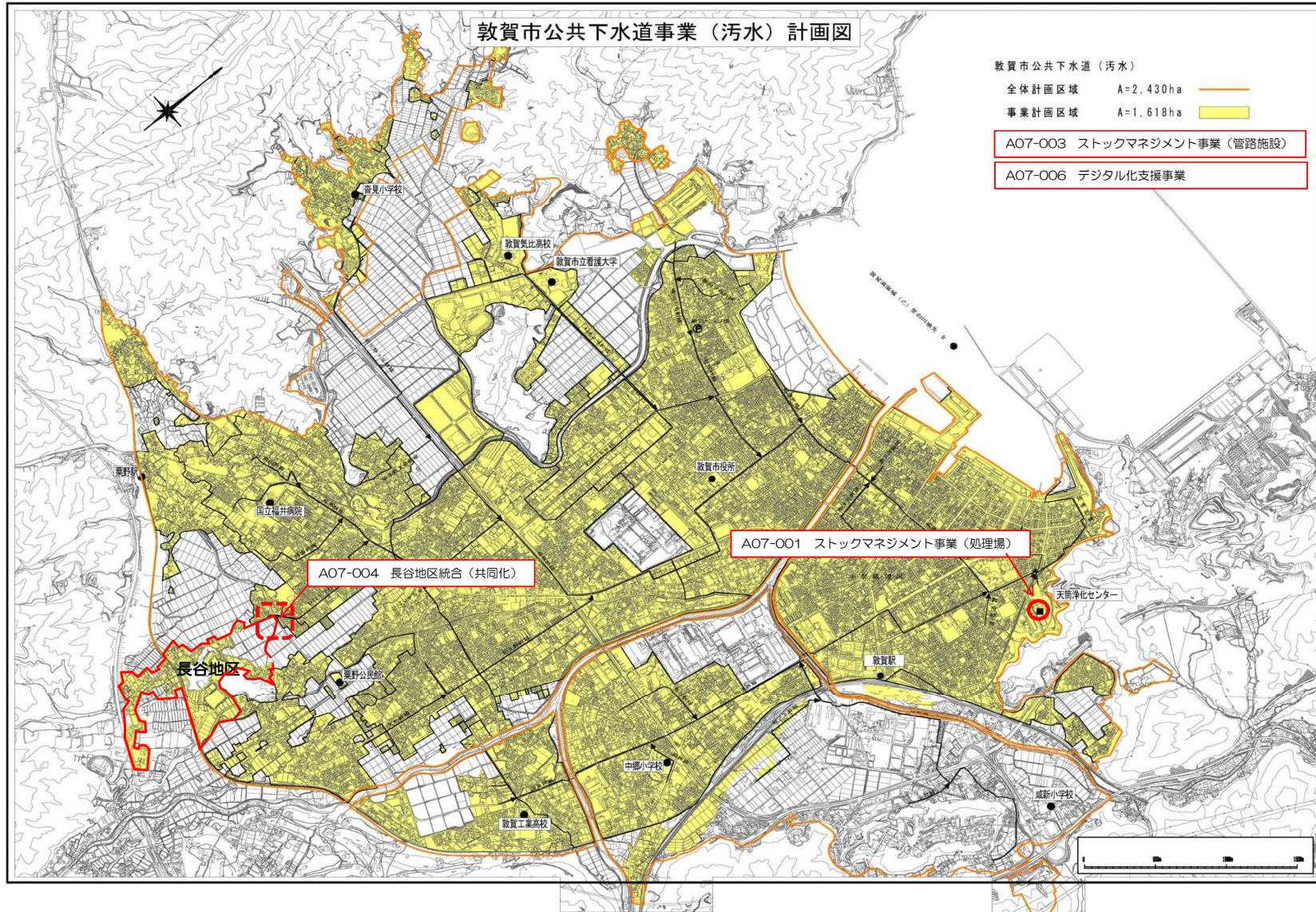
交付金の執行状況

(単位:百万円)

	R3	R4	R5	R6	R7
配分額 (a)	127	83			
計画別流用 増△減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	127	83			
前年度からの繰越額 (d)	0	79			
支払済額 (e)	48	79			
翌年度繰越額 (f)	79	79			
うち未契約繰越額 (g)	79	3			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	4			
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	62.2%	4.3%			
未契約繰越＋不用率が10%を超えている場合その理由	防災・減災、国土強靱化のための5ヵ年加速化対策として編成された補正予算の事業について、事業計画の再検討に当たり日数を要したため。				

計画の名称 敦賀市「清らかな水環境の再生 第3期」計画(防災・安全)
計画の期間 令和3年度～令和7年度(5年間)

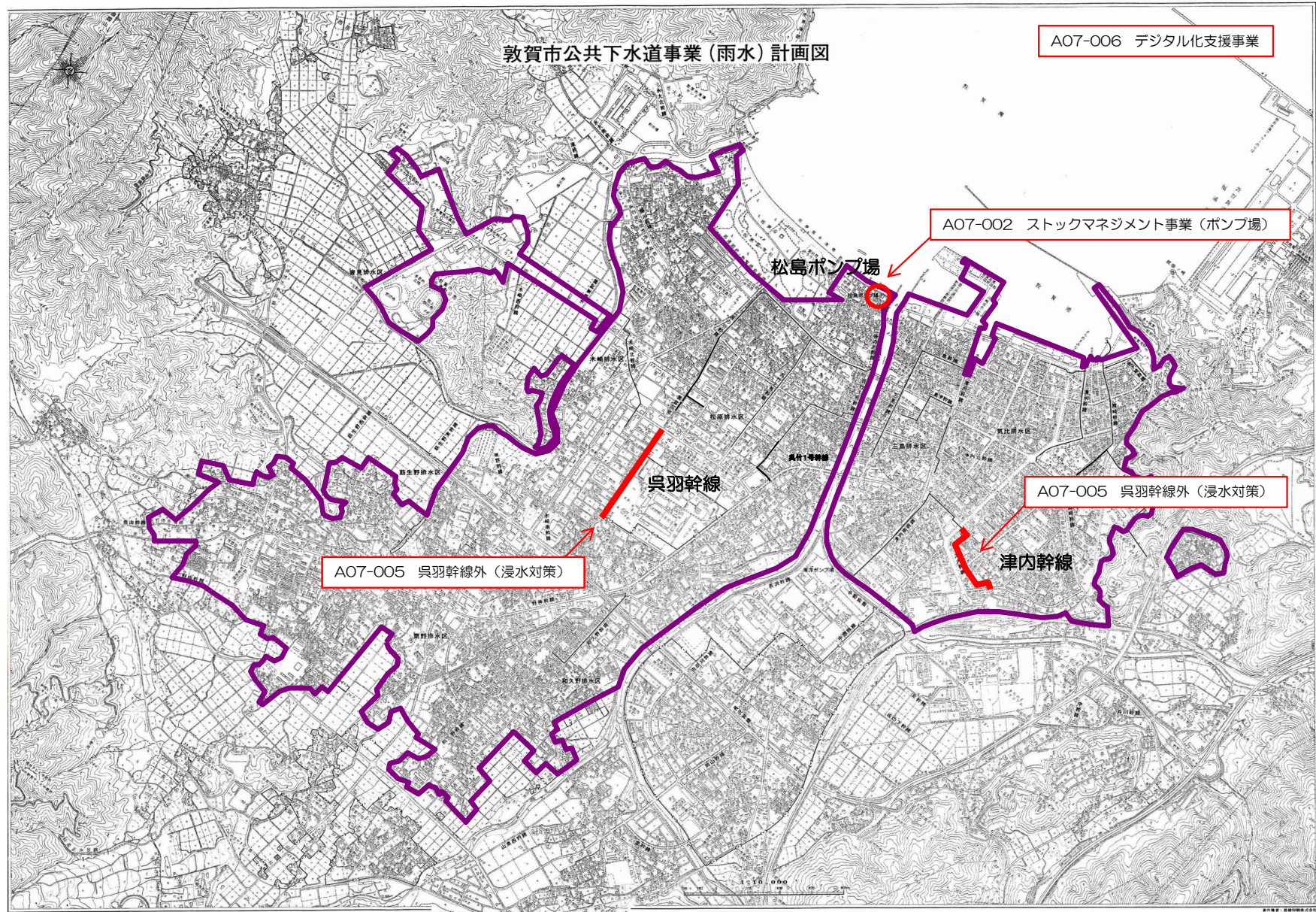
交付対象 敦賀市



計画の名称 敦賀市「清らかな水環境の再生 第3期」計画(防災・安全)

計画の期間 令和3年度～令和7年度(5年間)

交付対象 敦賀市



事前評価チェックシート

計画の名称： 敦賀市「清らかな水環境の再生 第3期」計画（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題を踏まえた目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○